

# 平成28年度全国学力・学習状況調査の結果

阿波市教育委員会

## 1 はじめに

今年4月、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語・算数（数学）の基礎知識と活用及び生活習慣や学習環境等に関する「学力・学習状況調査」が実施されました。

この調査は、調査結果の分析により、さまざまな施策や学校教育活動の成果と課題を明らかにし、その改善を図っていくための資料として活用しています。

阿波市におきましては、昨年度から、阿波市全体の結果概要と改善の方策等について広く市民に公表し、保護者や地域の方々のご理解とご協力を得ながら効果的な学力向上対策を推進していきたいと考えています。

今後とも、学力向上についてのさまざまな施策の推進にご協力くださいますようお願いいたします。

※ 本市では、序列化や過度の競争につながる恐れがあることから、学力調査の数値結果や個々の学校名の公表は行っておりません。

## 2 全国学力・学習状況調査の概要について

### (1) 調査対象

- 小学校第6学年の全児童
- 中学校第3学年の全生徒

### (2) 調査内容

#### ①教科に関する調査（国語、算数・数学）

主として「知識」に関する問題(A)	主として「活用」に関する問題(B)
<ul style="list-style-type: none"><li>・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容</li><li>・日常生活において活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・知識・技能等を日常生活の様々な場面に活用する力</li><li>・様々な課題解決のために構想を立て実践し評価・改善する力 など</li></ul>

#### ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例)国語の勉強は好きですか、授業の内容はどの程度分かりますか、携帯電話等の使用時間、読書時間、勉強時間の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)学力向上に向けた取組、指導方法の工夫、教育の情報化、教員研修、家庭・地域との連携の状況 など

### (3) 実施日 平成28年4月19日（火）

### 3 調査結果

#### (1) 教科に関する調査結果

##### ①小学校

教科	問題	結果
国語	A	「言語文化」は、全国の平均値より高く、「読むこと」は同程度、「話すこと・聞くこと」・「書くこと」に課題が見られます。
	B	「書くこと」・「読むこと」・「言語文化」は、全国の平均値と同程度で、「話すこと・聞くこと」に課題が見られます。
算数	A	「数と計算」・「量と測定」・「図形」は、全国の平均値と同程度で、「数量関係」に課題が見られます。
	B	「数と計算」・「量と測定」・「数量関係」は全国の平均値と同程度で、「図形」に課題が見られます。

##### ①中学校

教科	問題	結果
国語	A	「話すこと・聞くこと」・「書くこと」・「読むこと」・「言語文化」は全国の平均値と同程度です。
	B	「話すこと・聞くこと」・「言語文化」は全国の平均値と同程度で、「書くこと」・「読むこと」に課題が見られます。
数学	A	「数と式」・「図形」・「関数」・「資料の活用」は、全国の平均値と同程度です。
	B	「数と式」・「関数」・「資料の活用」は、全国の平均値と同程度ですが、「図形」に課題が見られます。

#### 設問別の主な集計結果

##### 小学校6年国語

###### 身につけていること

- ① 漢字やローマ字を正しく読んだり書いたりする力が身についています。
- ② 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、考えを明確にしながら読む力が身についています。

###### 身につけさせたいこと

- ① グラフを基に、分かったことを的確に書く力
- ② 目的や意図に応じて、書く事項を整理する力

##### 小学校6年算数

###### 身につけていること

- ① 小数や分数の四則計算を正しく行う力が身についています。
- ② 立体における位置関係を理解できています。

###### 身につけさせたいこと

- ① 示された情報を基に、式の意味の説明を記述できる力
- ② グラフから必要な情報を読み取り、それを根拠に考察できる力

### 中学校 3 年国語

#### 身につけていること

- ① 文脈に即して漢字を正しく読んだり，書いたりする力が身についています。
- ② 全体と部分の関係に注意して話を構成する力が身についています。

#### 身につけさせたいこと

- ① 課題を決め，それに応じた情報の収集方法を考える力
- ② 文章から必要な情報を読み取り，根拠を明確にして考えを書く力

### 中学校 3 年数学

#### 身につけていること

- ① 整式の加法と減法の計算を正しく行う力が身についています。
- ② 比例の関係を表す表から変化や対応の特徴を正しく捉える力が身についています

#### 身につけさせたいこと

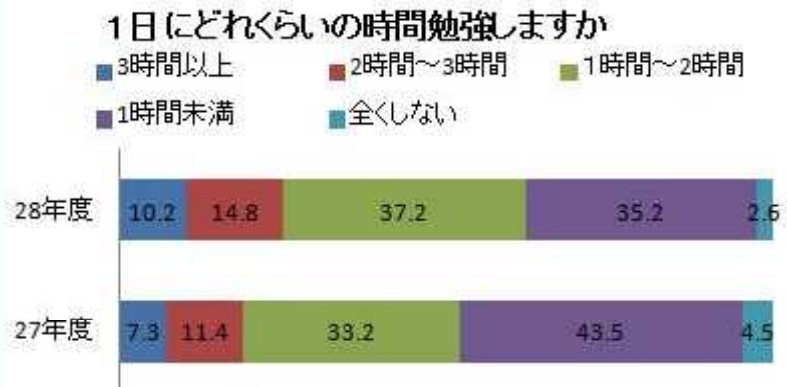
- ① 与えられた情報から必要な情報を適切に選択し，数量の関係を数学的に表現する力
- ② 事象を数学的に解釈し，問題解決の方法を数学的に説明する力

## (2) 児童生徒に関する生活習慣や学習環境等に関する状況調査結果

### 小学校

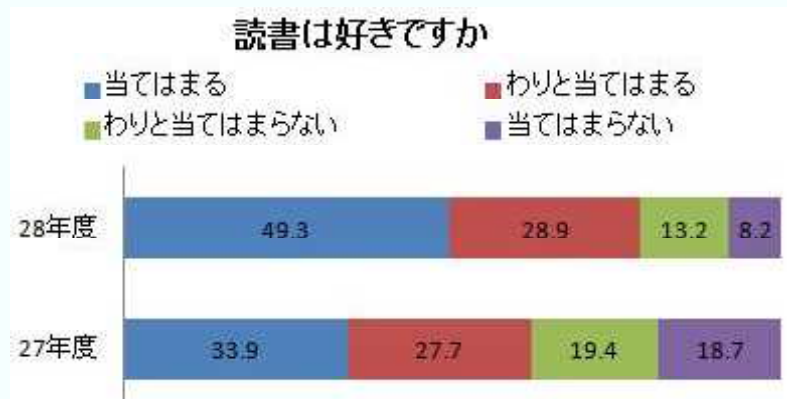
#### ○ 1 日当たりの勉強時間

昨年と比較すると「1 時間以上の家庭学習をしている」と回答した児童が 10.3 % 増え，「家で予習・復習をしている」と答えた児童も増えていることが分かりました。



#### ○ 読書は好きですか

昨年と比較すると，「読書が好き」と回答した児童は 15.4 % 増え，「家で読書をしている」と回答した児童も増えていることが分かりました。



○ テレビを見る時間

昨年と比較すると、「平日2時間以上テレビやDVDを見ている」児童は8.4%減りました。ただ、4時間以上見ている児童の割合がやや増えているのが心配です。



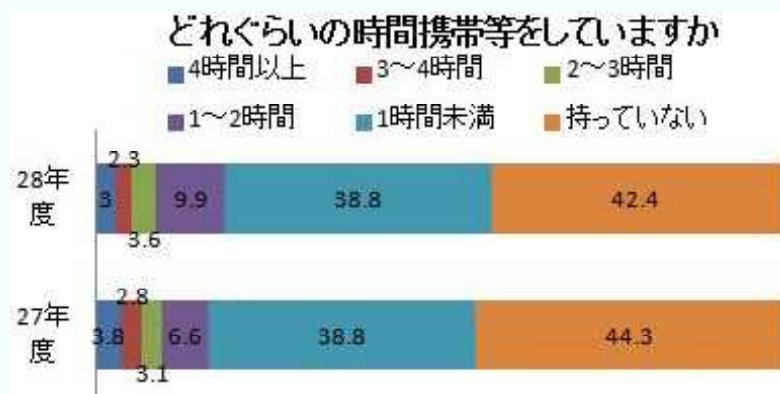
○ ゲームをする時間

昨年と比較すると、「平日1時間以上テレビゲームをしている」児童はやや減ったものの、8.2%の児童が4時間以上もゲームをしていることが分かりました。



○ 携帯等をする時間

「平日1時間以上携帯電話等で通話やメール、インターネットをしている」児童は昨年よりやや増えていることが分かりました。割合は少ないものの長時間の使用は問題があると思います。



※ 「携帯等をする」とは、携帯電話やスマートフォンで、通話やメール、インターネットをすること。（ここでは、携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除いてあります。）



## 中学校

### ○ 1日当たりの勉強時間

「平日1日2時間以上の家庭学習をしている」と回答した生徒は、昨年より増えています。ただ1時間未満と答えた生徒も昨年より増えていることが分かりました。

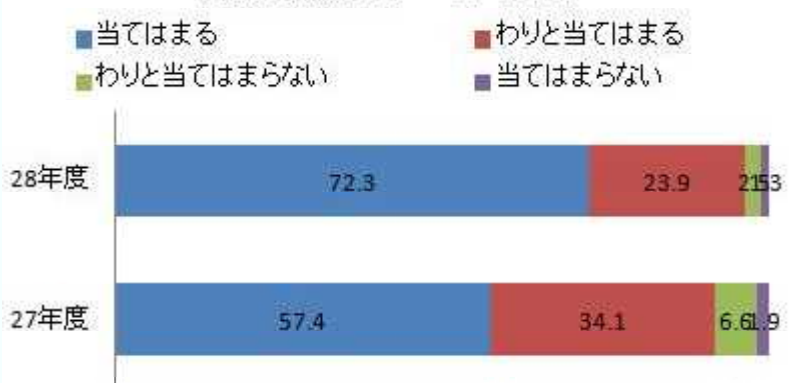
#### 1日にどれくらいの時間勉強をしますか



### ○ 学校の規則を守るか

昨年と比較すると、「学校の規則を守っている」と回答した生徒が14.9%も増加したことが分かりました。

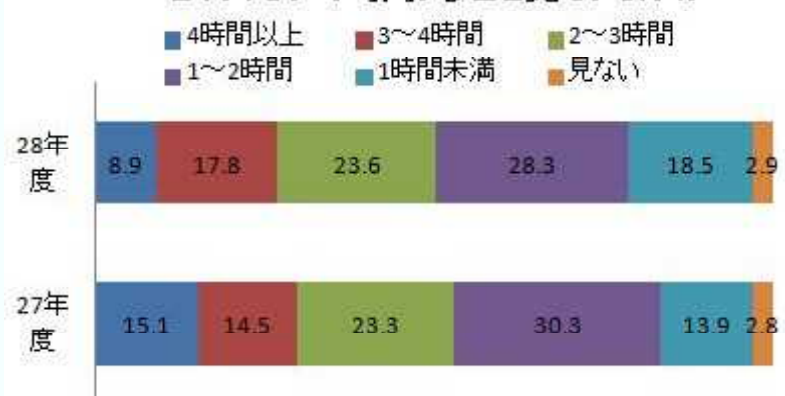
#### 学校の規則を守っていますか



### ○ テレビを見る時間

昨年と比較すると、「平日2時間以上テレビやDVDを見ている」生徒はやや減り、50.3%となりました。ただ、長時間見ている生徒が依然として多いことが問題です。

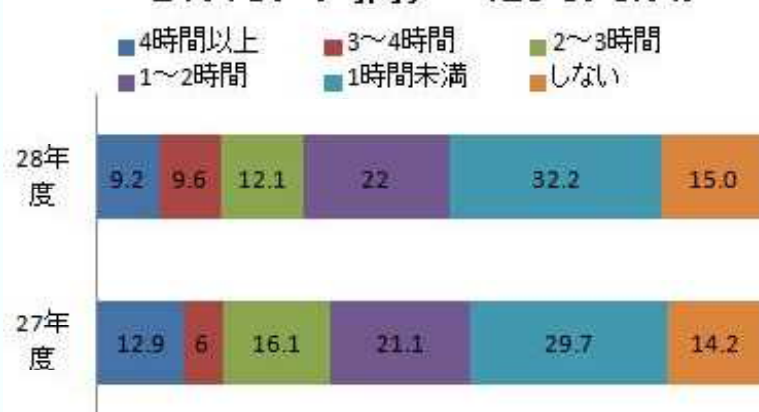
#### どれくらいの時間テレビを見ていますか



### ○ ゲームをする時間

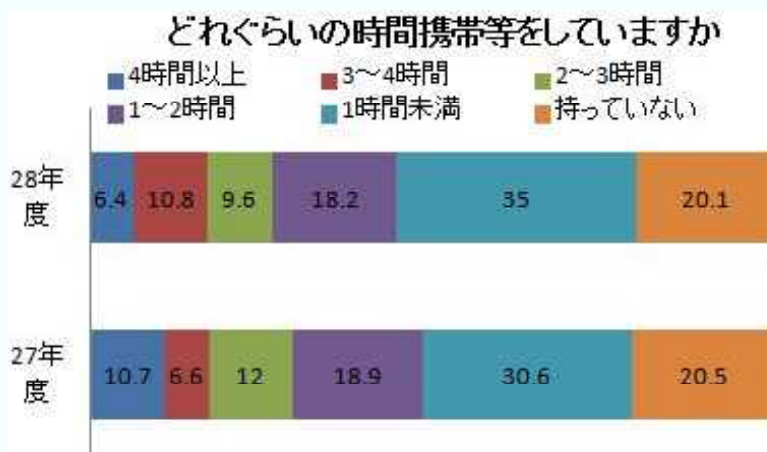
昨年と比較すると「平日1時間以上テレビゲームをしている」生徒はやや減ったものの、9.2%の生徒が4時間以上もゲームをしていることが分かりました。

#### どれくらいの時間ゲームをしていますか



### ○ 携帯等をする時間

「平日1時間以上携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしている」生徒は、昨年よりやや減ったものの45.0%もいることが分かりました。



### (3) 学校の取組の状況

#### ○ 「学力向上につながる学校の取組」

##### 〔ICTの効果的な活用〕

・ICTを活用して、子供同士が教え合い学び合う学習や課題発見・解決型の学習指導を行っている学校が増えてきています。

##### 〔組織的な対応〕

・学力向上実行プラン達成に向けた方策について、全教職員間で共有し、組織的な取組を推進しています。

##### 〔校内研修〕

・子どもたちに学力をつけるために、学校でテーマを決め講師を招くなど、教師の指導力を高める取組を推進しています。

##### 〔家庭・地域との連携〕

・学校支援ボランティアによる放課後学習など、地域人材を活用した取組を推進しています。

## 4 阿波市の学力向上への取組方針

- 学力向上のための研修会を実施し、指導方法の工夫改善に努めます。
- 学力向上推進講師を2校に1名ずつ派遣し、TT指導や放課後学習を行います。
- ICTを活用した学力向上のための取組を推進します。
- 学力向上推進コーディネーターが学校訪問し、授業改善等の指導を行います。
- 授業公開や研修会等小中学校の連携を進め、共通取組体制の確立を進めます。
- 読書活動の推進を図り、児童生徒が読書を通して言語に関する興味や関心を高める取組を促進します。
- 家庭と連携して、家庭学習の充実を図ります。

## 5 保護者・地域の皆さんへ

家庭学習や基本的な生活習慣の確立に向けてご協力をお願いします。

- 家庭で勉強する習慣を身につけさせましょう。

家庭における学習時間のめやす

小学校「学年×10分」

中学校「学年+1時間」

- ・毎日決まった時刻に学習させましょう。
- ・子どもの学習している姿を見ましょう。
- ・子どもの学習したのを見ましょう。(認める, ほめる)
- ・学習に集中できる環境をつくりましょう。

(テレビを見ながらなど、「ながら勉強」をしないようにしましょう。)

- 読書習慣を身につけさせましょう。

- ・本にふれる機会を設け、読書に親しむ環境をつくりましょう。

(親子読書や読み聞かせなど)

- ・図書だけでなく、新聞も読むようにすすめ、読解力を高めるとともに、語彙(ごい)をふやし、一般的な知識を身につけさせましょう。

- 家庭のふれあいの時間をふやしましょう。

- ・テレビやゲーム、携帯等の時間を少なくし、家族のふれあいの時間をふやしましょう。
- ・家庭において、積極的にコミュニケーションを図りながら、生活リズムを整えるルールづくりをしましょう。

子どもたちの生活リズムを整え、学習習慣や読書習慣を身につけるためには、学校と家庭や地域が連携しながら進めることが大切です。今後ともご協力くださいますようお願いいたします。

